

「一緒に遊ばないなんて、もったいない! 心が通じ合う、きっかけになるんですから。」

おもちゃの与えっぱなしは危険!

「10分で壊しちゃいました」という飼い主さんがいますが、与える時間が長すぎでは? おもちゃを穴が開くほど噛んだり、噛み壊したりさせると、誤飲事故につながり危険です。おもちゃは与えるよりも、一緒に遊ぶことが大事。取ったり取られたり、投げたり持ってきたり、そんなやりとりで犬は満足するもの。おもちゃは人間と犬の絆の代名詞。遊ぶための道具であって、遊びそのものではありませんよ。

一緒に遊ぶと、問題行動がなくなる!?

一緒に楽しく遊べると、互いの気持ちがわかるようになり、「おすわり! マテ!」という命令ではなく、「ちょっと座って待ってね」と言うだけで待てるようになったりします。飼い主側も愛犬の行動が理解できるようになり、なぜ吠えているのか、散歩中になぜ引っ張るのか、理由が何となくわかります。理由がわかると解決しやすく、大きな問題に発展することもあります。



指導・監修 中塚圭子先生
しつけ教室「ドルチェ・カーネ中塚」運営。
これまで指導してきた犬は約4500頭。ペ
ビイ動物看護学校講師、神戸市動物愛
護推進員を務める。JAHA(日本動物病
院福祉協会)認定ドッグトレーニングイ
ストラクター。JKC(ジャパンケンネルク
ラブ)公認訓練士。
◎中塚先生の愛犬ピピンちゃんも
撮影に協力してくれました。



おもちゃで 気持ちの キャッチボール しませんか?

おもちゃで一緒に遊べば、しぐさや声から互いの気持ちがわかり始めるもの。愛犬は話し掛けられた言葉を聞いて愛情を感じ、飼い主さんをもっと大好きに。一緒に遊ぶ時間を増やして、絆を深めましょう。

エネルギー発散にも!

ひっぱりっこ遊び

1 ☆

いくよー、
ヨーイ、ドン!

おもちゃを見せて
スタート。



遊ばない子は こんな風に誘ってみよう!



おもちゃを目の前で動かして、サッと隠す。というのを繰り返します。

興味をもったところに、ポッと放ると取りに行きます。

2 ひっぱれ、
ひっぱれ!



point

ひっぱるときに「ウーウー」となるのは「よしよ、よしよ」と言っているだけ。気にすることはありません。

もう一回
遊ぼう!

ひっぱりっこ遊びは興奮しやすいので、2、3回程度繰り返せば十分です。遊びが終わったらリラックスさせましょう。

3 興奮する前に、ひと休み
はい、おしまい!



point

必ず興奮しすぎる前に中断しましょう。

おもちゃを
放すように
誘導するには?

くわえている両端を挟み込むように両手で持ち、間隔を狭めていくと、ふっと口を緩める瞬間があるので、そのとき素早く取り上げながら「えらいね」とほめます。

ペビイからのお願い

やめよう危険な一人遊び

愛犬が鳴き笛を集中的に壊したり、破片にして散り散りにして、目を離した隙に飲み込んでしまい、開腹手術にいたるケースが増えています。危険な事故を未然に防ぐために、飼い主さんの目の届く範囲で一緒に遊び、遊び終わったら玩具を片付けてあげましょう。

- × 与えっぱなし・一人遊び
- × 愛犬から目を離す

※ひっぱりっこ遊びは、興奮しすぎる子にはおすすしません。

2 興奮してきたら動きを止めて
はい、おしまい!

point

くわえて放さない子には大好きなおやつと交換してもらおう。



ちょうだいね。

- おもちゃを出したら、「えらいね」としっかりほめましょう。

もう一回遊ぼう!

1回で終わると、「ちょうだい」=取り上げられた!と思わせてしまうので、必ず2、3回繰り返しましょう。

お口から「出して」の練習にもなります

「ちょうだい」遊び

1 遊んでみる?
動かして
遊びに誘います。



教えて! 中塚先生

A.

遊びの興奮状態が続く子なので、遊ばせた後はクールダウンさせてあげましょう。興奮を鎮めるように休息させます。ゆったりリラックスすることも教えてあげないとできないものなんです。

Q.

おもちゃへの執着が強すぎて片づけてもずっと探し続けます。おもちゃを破壊するので取り上げようとすると噛みついてくることも。どうしたらいいでしょう?

クールダウンのときは動き回って興奮を高めないように、リードを着けて飼い主のそばに居させます。このとき飼い主は本を読んだり、テレビを見たりして、愛犬に構わないようにします。

